



日本骨髄バンクの現状（平成 21 年 9 月末現在）

	8 月	9 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,941	3,198	346,218	441,550
患者登録者数	203	231	2,708	28,580
骨髄移植例数	91	95	-	10,945

■20 歳未満のドナー登録者数

9 月 110 人
合計 10,535 人 (17 年 3 月～)

■51 歳以上のドナー登録者数

9 月新規 110 人
延長 212 人
合計 16,064 人 (17 年 9 月～)

■9 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1,139 人、献血併行型集団登録会／1,900 人、集団登録会／83 人、その他／76 人

■骨髄バンクを介して 2 回提供された方（累計数）531 人 ■DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数）325 件

■国際協力の現状（2009 年 7 月～9 月）

< 海外ドナー⇒国内患者 > 移植数 2 件：NMDP 1、KMDP 1 累計移植数：159 件

< 国内ドナー⇒海外患者 > 提供数 0 件： 累計提供数：188 件 注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 患者さんの HLA 確認検査への「C 座」追加について

7 月号でお知らせしましたように、HLA-C 座の移植成績に与える影響が明らかになり、8 月から新規にドナー登録される方々に対して、従来の HLA-A、B、DR 座に加えて HLA-C 座検査が導入されました。

そして今月からは、患者さんの確認検査においても従来の 3 座に HLA-C 座検査を追加（必須化）することになりました。これに伴い患者負担金が 10,500 円（HLA-C 座検査分）値上げされますが、ドナー確認検査の一般血液検査を 2,700 円値下げし、全体として患者さんの負担はこれまでと同等になるようにしました。

※患者さんが移植に至るには平均して 4 名のドナー候補者の確認検査を実施：▲2,700 円×4=▲10,800 円

今後は、患者さんとドナーの方の HLA-C 座の適合状況が今までよりも早い段階でわかるようになるので、コーディネート期間の短縮と HLA-C 座を適合させることによる移植成績の向上が見込まれます。

2 コーディネーターの処遇および制度の見直しについて

平成 18 年 10 月に「将来展望に関する検討会議」が設置され、平成 20 年 3 月に出された答申書において 4 つの提言（①コーディネーターの確保と処遇改善、②指導研修体制の充実、③コーディネーターの一本化、④きめ細かいコーディネートを行うための地区事務局における体制整備）が示されました。

この提言をふまえて、コーディネーターの処遇および制度の見直しについて、事務局ではコーディネーターの皆さまの意見を聴きながら、検討を重ね、コーディネーターの処遇および制度の見直し案を作成しました。これは公平な制度と、現時点で可能な処遇改善を内容とするものであり、平成 22 年度の導入に向けて、10 月 22 日に開催される常任理事会において審議する予定です。

「コーディネーター制度について」の具体的な内容は、

(1) コーディネーター制度をより公平な制度とするため、処理件数に応じて報酬を支払うコーディネーター制度に平成 22 年度から一本化し、専任コーディネーターは廃止する。



- (2) 地区事務局のマンパワーを充実し、コーディネート処理機能を高めるため、地区事務局にコーディネーターの中から選任する「職員コーディネーター」を一定数、平成 22 年度から設置。その役割は地域のコーディネートの補完とコーディネーターのサポートとする。
- (3) 地区内のコーディネート件数の拡大、PB 導入に基づくコーディネート業務の増大等に対応するため、今年度各地区から増員要望を募り、コーディネーター養成研修を実施し、地区におけるコーディネートの円滑な実施を確保する。
- (4) 研修等担当者の設置。現在のコーディネーターによる研修担当制度について、職員コーディネーターを十分得られない地区においては存続するものとし、その業務範囲を一部拡大するとともに（新人コーディネーターからの相談を受ける）、活動に見合う手当て（月 1 万円）を新設する。
- コーディネーターの処遇改善については、多くのコーディネーターの要望により、1 万円の範囲内でコーディネーターの健康診断費用の補助を実施します。なお、財源の問題等、財団を取り巻く環境はますます厳しくなっておりますが、これらコーディネーターの処遇および制度の見直しの実現にむけて最大限の努力を続けてまいりたいと考えております。

3

「骨髄バンク推進月間イベント」をお台場で開催

骨髄バンク推進月間中の 10 月 3 日（土）、東京都江東区のお台場ビーナスフォート協会広場で「骨髄バンク推進月間イベント」（東京 21 世紀ライオンズクラブ主催）が開催されました。ステージではトークショーが行われ、「未来への懸け橋～ぼくから君へ～」と題された前半はサッカー解説者の宮澤ミシェルさん、俳優で提供ドナーの大橋一三さんにご出演いただき、ドナー登録について話し合っていました。宮澤さんにはトークショー終了後、同会場でドナー登録をしていただきました。続いて「未来へのはばたき～君から未来へ～」と題された後半では、元患者でもある全国骨髄バンク推進全国協議会 会長の大谷貴子さんとプロスノーボーダーの荒井善正さんにご出演いただき、患者さんの立場から話をさせていただきました。また、ボーイスカウト（東京連盟新宿第 4 団）の皆さまやボランティアの方々による街頭募金活動やドナー登録会も行われ、28 名の方にドナー登録をしていただきました。

イベントの準備・運営にご尽力いただいたライオンズクラブの方々をはじめ、ボランティア、日本赤十字社、出演者の方々他、ご協力をいただいた皆さまに感謝申し上げます。

10 月は骨髄バンク推進月間であり、全国で多くのドナー登録会やイベントが予定されています。詳細は財団ホームページ (<http://www.jmdp.or.jp>) をご覧ください。

4

第 41 回東京モーターショー2009（骨髄ドナー登録会）

今年は千葉市の幕張メッセで 2 年ぶりに東京モーターショーが開催されます。東京モーターショーでは献血併行型ドナー登録会を実施していますが、毎回、多くの方にご登録をいただいています。今回は経済状況が厳しいことから、開催規模・日数等が縮小されますが、多くの皆さまのご来場とご登録をお待ちしています。

■場所：千葉県千葉市美浜区「幕張メッセ」 ■期間：10 月 24 日（土）～11 月 4 日（水）

■交通：JR 海浜幕張駅 徒歩 5 分、JR/京成幕張本郷駅 バス 15 分



5 骨髄バンク支援のご紹介

■「2009 LIVE FOR LIFE 音楽彩～本田美奈子. メモリアル～」

- ・主催：特定非営利活動法人 LIVE FOR LIFE 美奈子基金
- ・日時：11 月 22 日（日）、17：00 開場 ・場所：日比谷公会堂
- ・出演：坂本冬美、宮沢和史（THE BOOM）、YU-KI（TRF）、早見優、松本伊代、柴田智子、井料瑠美、立道聡子、神崎順 with ダンサーズ、金志賢、伊達晃二、The New Classics、中村桃花、上田亜希子、朝霧裕 他
- ・お問合せ：キョードー東京 03-3498-9999

■「中溝裕子骨髄バンクチャリティーゴルフコンペ in 中部」

- ・主催：春日井ライオンズクラブ
 - ・開催日：11 月 12 日（木） ・場所：花の木ゴルフクラブ
- ※女子プロゴルファーも参加され、パーティーではチャリティオークションが行われる予定です

6 平成 22 年度国庫補助金について

皆さまも TV や新聞等の報道でお聞き及びかと思いますが、来年度の予算編成に関して、いわゆる天下り法人については国庫補助金を平成 21 年度対比で 2 割削減するという、長妻厚生労働大臣の指示があったところです。2 割の削減が実施された場合、収入に占める国庫補助金の割合が約 3 割を占める当財団の運営にとって大きな影響があります。来年度の実施を目指している末梢血幹細胞移植事業やコーディネーターの処遇改善等も実施が難しくなります。財団としては、この事態を回避し来年度必要な事業が実施できるよう、来年度における天下り法人からの脱却等、最大限努めていきます。

※天下り法人とは「国家公務員 0B の理事が在籍する法人」で、当財団等が該当するとのことです。
(常務理事：平井 全)

7 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
PBSCT に関する委員会	公開	10 月 17 日（土）16:00～ 廣瀬第 1 ビル 2 階会議室
PBSCT に関する委員会	公開	11 月 8 日（日）14:00～ 廣瀬第 1 ビル 2 階会議室
広報推進委員会	公開	10 月 20 日（火）18:30～ 廣瀬第 2 ビル地下会議室
常任理事会	公開・一部非公開	10 月 22 日（木）17:30～ 廣瀬第 2 ビル地下会議室

ドナーコーディネーター関係者のコーナー

次ページは、調整医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。



8 平成 21 年度第 2 回地区コーディネーター会議・研修会開催報告

第 2 回地区コーディネーター会議・研修会が各地で開催されています。これまでに 10 月 3 日に北海道、中部、中四国の各地区、5 日に東北地区、14 日に関東地区で開催されました。研修会では「コンピテンシー的思考による事例検討」を行い、日々のコーディネートでも活かせるコンピテンシー的な振り返り方法にトライしていただきました。中央事務局からコーディネーターの処遇および制度の見直しについて説明した他、各地区独自の研修が行われました。引き続き、11 月 6 日に九州地区、11 日に近畿地区の開催が予定されていますので、積極的に取り組んでいただきますようお願いします。

9 連絡事項

◆第15回コーディネーターブラッシュアップ研修会について（第2報）

今年度のブラッシュアップ研修会に関しては、第 1 報としてマンスリー JMDP 8 月号でもご案内しましたとおり、2010 年 2 月に静岡県浜松市で開催される第 32 回日本造血細胞移植学会総会に併せて開催します。具体的な内容については、現在、検討を重ねているところですが、スケジュール等、現時点で決まっていることをお知らせします。

日時： < 1 日目 > 平成 22 年 2 月 19 日（金）13：30～19：30

13：30～14：00 受付

14：00～16：30 コーディネーターの方々は学会参加

地区事務局員の方々は同時間帯に開催の地区事務局会議出席

16：45～19：30 開会式、研修

< 2 日目 > 平成 22 年 2 月 20 日（土）8：45～16：00

8：45～11：15 研修

12：00～13：30 合同報告会

13：45～15：35 研修

15：35～16：00 総括、閉会式

場所：アクトシティ浜松・オークラアクトシティ浜松（浜松市）

内容等：詳細については未定（現在検討中）

* 交通・宿泊の手配は各自でお願いします。

（実費を支給しますが、経費節減の見地からできるだけ宿泊パック等の割安なものをご利用下さい）

* 研修会は、コーディネーター、地区事務局員、初期コーディネート担当職員は全員参加です。

* 欠席・前後泊必要者は事前に地区事務局経由でドナーコーディネート部までお申し出ください。

◆広報版「解説グラビア」の送付について

ドナー登録時検査のHLA-C座検査追加に伴い、広報渉外部で作成している「解説グラビア」の内容を変更しました。コーディネーターの皆さまに今月号のマンスリーJMDPに同封してお送りします。